

06年6月26日

子どもたちに未来をつなぐ

山崎たかとし 後援会だより

不老町6の36 電話(42)3630

Email: oizuz3630@rp.tn.ne.jp

http://www3.tn.ne.jp/~oizuz3630/



新庁舎の建設地は合併協の合意どおり

大人気ない不穏当な発言

6月議会の一般質問で、旧今立町のある議員が新庁舎の建設地に関する質問の中で、「サギにあったようだ」と発言しました。これは、事実にもとづいたものではなく、不穏当な発言ということで議事録から抹消されました。

旧今立町民の潜在的な不満と旧武生地区に対する反発心をあおりたて、自身の存在感をアピールするつもりだったのかもしれませんが、あまりに大人気ない発言であると私は思いました。

市長、「変更はない」と明言

6月議会の一般質問の答弁で、市長は「新庁舎の建設位置に関しては、合併協議会の合意に基づき、日野川の東部に建設する方針に変更はない」と明言しました。

確かに、旧武生の議員の中には、国が「中心市街地活性化法」などを改定したことを受け、旧市街地に市役所を残すことを願う人たちもいます。だからといって、それだけの理由で奈良市長が合併協議会の合意を破るはずがありません。

不信感をあおるより融和が大切な時期

にもかかわらず、議会が終了した後も、旧今立町民の不満・不信感をいたずらにあおるような発言をされている旧今立町の議員がおられます。何ゆえそのような発言をされるのか理解に苦しみます。

庁舎位置にこだわりすぎて大事な議論ができなかった

ところで、私は合併問題特別委員長でありながら、合併協議会の委員になることができませんでした。

協議会にさきがけておこなわれた武生市との懇話会（私は合併委員長として参加できませんでした）の席でも、今立側は庁舎の位置に執拗にこだわりつづけました。そのため協議がこう着状態になったこともありました。

なぜそれほどまでに新庁舎の位置についてばかりこだわりののかと私は不思議でした。

大事なことを議論して！

協議会委員たちは、庁舎の位置に関して、住民の声を集約した上で合併協議に臨んだわけではありません。ですから当時、「新庁舎の位置はそんなに重大な問題ではない。新市の将来像の設計など、もっと大事なことを議論してほしい」という声が、合併に反対の住民からも賛成の住民からも聞かれたものです。

今立総合支所は廃止！

新庁舎が建設されたあと今立総合支所は廃止されることになっています。きびしい財政事情のなかで百億近い巨費が投じられるのですから、支所を残す余裕はありません。このことははじめからわかっていました。しかし、支所を廃止して本当によいのでしょうか。それについても旧今立住民の声が集約されてはいません。新庁舎の位置にばかりこだわっていたため、町民的な議論ができなかったのです。

大きく変化した財政事情

ただ、国の地方財政計画は、合併前とは大きく変化したのです。

「約束だ。約束を守れ」と叫ぶのはたやすいのですが、それには財源の裏づけも必要です。

周知のように地方交付税は削減につぐ削減で、来年度はさらに、地方交付税を算定する法定率を下げて総額を抑制するという案もできています。

この財政状況の大きな変化を無視して、「約束を守れ」の一点張りで新庁舎の位置だけを論じていてよいものでしょうか。

夕張市が破産

あとに続く自治体も！

6月20日、北海道夕張市がついに破産し財政債権団体となりました。地方自治体の財政はまさに危機に瀕しているのです。

新市の総合計画

中心市街地は一つあってもよい

「中心市街地活性化」について議論することは、旧今立町地域の市街地の振興にとっても大切なことでしょう。さいわい、「中心市街地活性化法」は、合併した自治体の場合、中心市街地が複数あってもよいとされています。

新市の総合計画が来年度中にはできることになっています。この夏以降、本格的な議論が始まります。この総合計画の策定の議論にあわせて、今立総合支所のあつかいも含め、二つの中心市街地の活性化をどのように図っていくかを議論してゆくべきでしょう。

過大な財政負担のつ
けを払うのは住民

新庁舎に関しても、その中で、財政に過大なしわ寄せをしない方法

（既存の建物を活用するなど）も模索しつつ、旧市町の住民が納得のゆくよう十分に議論をする必要があると思います。

合併後5年をめどに新庁舎を建設するという合意があつたとしても、厳しい財政事情をかんがみ、十分な住民論議が積み重ねられるのであれば、新庁舎の建設が遅れたとしても、それをけしからんという住民の方はおられないと私は信じています。

あとがき

7月で切れる今任期中最後の議会二コースをお届けします。

小泉政権下で暮らしにくくなつたという声をいたるところで聞きま
す。格差もまだまだ広がるのではな
いかと心配しています。競争は必要
ですが、格差が固定化すれば社会は
不安定になります。これからも地方
から社会への異論を唱えつづけてい
きたいと考えています。

子どもたちに未来をつなぐ

山崎たかし

誰もが心おだやかに暮らせる
社会を築くために力を尽
くします

時代の先を見すえた提案をします

省エネ・新エネルギーの促進の提案

「議会基本条例」や夜間議会など議会改革の提案

（*「議会基本条例」で、市長や職員が議員に逆質問をした
り、議員どうしの討論が可能になります。）

暮らしの中の大切なものを守ります

和紙など伝統産業の再生・振興策を模索します

森と水源を守る山間集落の暮らしに心を配ります

安全な食材を使う自校方式の学校給食を守ります